

家族の大切な犬

三年 岩堀 湊

このごろ、いとこがかわいい犬をかいはじめました。犬の名前は「ステラ」です。ステラはまだ赤ちゃんで、肉きゅうがふわふわしていてとてもかわいいです。

だけど、さいきんいやなことがありました。それは、うんちを食べてしまったことです。

そのことをびょういんの先生に聞いたら、うんちを食べるげんいんは、ごはんのりょうが少したりなかったからだそうです。かいぬしのごはんをあげるりょうが少ないのです。もう少しごはんをあげていれば、うんちを食べることはなかったと思います。そうしたら、ぼくもいやなことはなかったかもしれませぬ。のどがかわいていたら、おしっこもなめちやうかもしれませぬ。こういうことがないよ
うに、かいぬしがしつかりべんきょうして、もういやなことがないようにしたいです。

犬はしゃべれないので、のどがかわいているのか、おなかがすいているのか、人間にはわかりませぬ。かいぬしがきちんと見て、おなかがすいているのか、のどがかわいているのかどうかを、見てあげないといけないと思います。

犬だけでなく生き物はみんなのちはたった一つしかありません。一ど死んじやったらもう会えないから、きちんとお世話をしないといけません。

ぼくは大人になったら、自分自身で犬やほかの生き物をかいたいです。そのために生き物についてたくさんべんきょうしたいと思います。